

①堀跡・土塁

北門の両脇に位置する2つの堀跡と土塁の位置関係を把握するため、トレンチ調査を実施しました。

その結果、図1のとおり、東側の堀跡では2つの版築層(はんちくそう)を確認しました。この版築層は粘土やローム等を薄く重ねて叩き締めながら積み上げられており、土塁の一部と考えられます。よって、この版築層の立ち上がり、土塁の位置を検討する資料となりました。

西側の堀跡についても、よく似た版築層を確認しました。



写真1 堀跡の断面

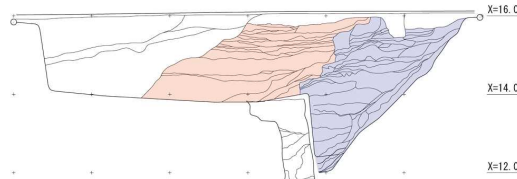
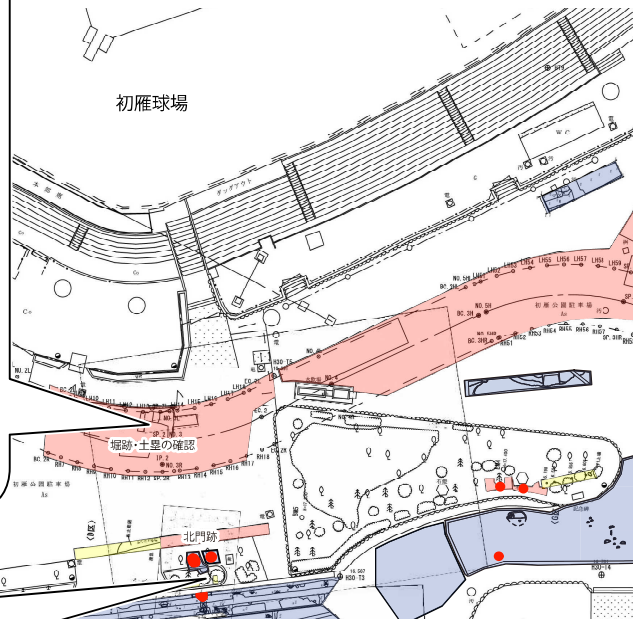


図1 堀跡の断面図(赤・青色は版築層確認部分)

初雁球場



④本丸御殿前の構え(仮称)

御殿前の構えの基礎遺構と思われる配石や、塀重門の柱跡と思われる遺構を検出しました。塀重門の遺構(図2・写真7)は、内部に硬く締まった粘土が埋められており、また底部と側面には大きさ約50cm、厚さ15cm程の石が2つ並べられていました。

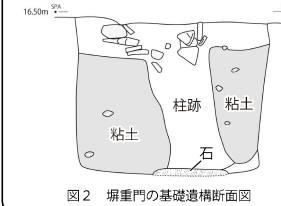


図2 塀重門の基礎遺構断面図



写真6 本丸御殿前の構え(仮称)の基礎遺構



写真7 塀重門の基礎遺構

②北門跡

北門の柱跡と思われる遺構を3基検出しました。これらは絵図に描かれた位置・規模とほぼ同じであると思われます。



写真2 北門の柱跡(北西側)



写真3 北門の柱跡(写真左:北東側、写真右:南東側)



⑤本丸御殿の台所

絵図との照合により、本丸御殿の台所と思われる建物の基礎遺構を18基検出しました。写真8の遺構は、大小異なる石を一面に敷き詰めており、非常に丁寧な造られています。石の他に、瓦の破片を利用した遺構も確認しました。



写真8 台所の基礎遺構

③拾人部屋

現存する本丸御殿の北側に位置する玉石垣の中を調査し、絵図に「拾人部屋」と記された建物の基礎遺構を15基検出しました。

これらは建物の東端のものと考えられます。さらに西側の基礎遺構は、後世の土木工事等により削平されており、残っていないと思われる。



写真4 拾人部屋の基礎遺構



写真5 基礎遺構検出状況

	…平成4年度 発掘調査(第4次)
	…令和元年度 発掘調査(第38次)
	…令和2年度 発掘調査(第40次)
	…令和3年度 発掘調査(第41次)